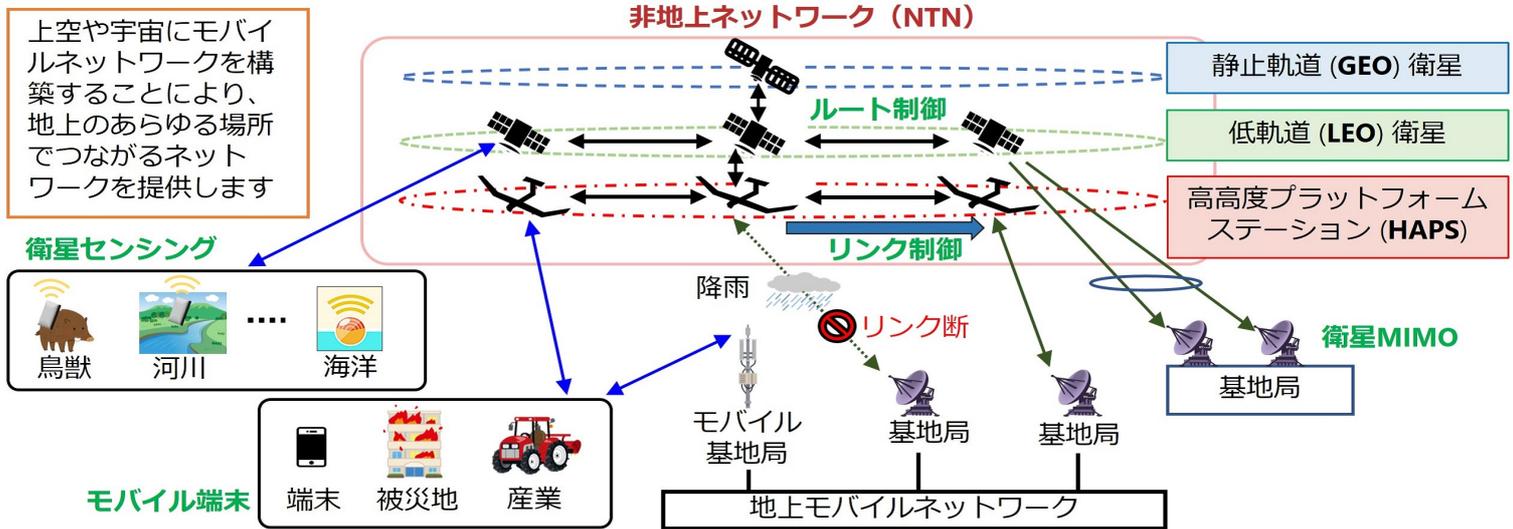


## 背景

安全保障や環境モニタリングなどの用途のため、海上や山岳地帯など地上ネットワークがリーチできていない場所での通信サービスの提供が求められています。また、自然災害の脅威が増しており、地上災害に強い通信インフラが求められています。

## 成果の概要

衛星やHAPSを用いた非地上ネットワークを宇宙に構築し、世界中のあらゆる場所に通信サービスエリアを形成します。多数端末を収容するため、大容量化の技術を適用します。また、5G/6Gではさまざまなユースケースが想定されるため、低レイテンシのための技術を適用します。



## 技術のポイント

- 非地上ネットワークの容量増加・低レイテンシを実現するための、衛星とHAPSの異なる特性（遅延やリンク容量など）を考慮したトラフィックのルート制御技術（ルーティング）
- 複数センサ端末の送信信号を同時受信する衛星センシング技術および衛星-地上間の大容量伝送する衛星MIMO技術

## この研究がもたらす未来

非地上ネットワークにより、世界中どこにでも超広域省電力センシング環境とモバイルサービスを提供します。

## コラボレーションパートナー

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

## 出展企業

日本電信電話株式会社

## 問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com